

この地、万福寺の名前の由来については、『新編武蔵風土記稿』(天保元年/1830年/江戸幕府上梓)内に「いにしへ万福寺という寺院のありしゆへかゝる名もあるにや、今は土地にもその伝へなし、またまさしく寺跡と覚ゆる地も見えず」と記されています。簡単に言えば『新編武蔵風土記稿』内においても、「万福寺という名のお寺があったらしい」という記録が残っているだけであり、実際に万福寺という名の寺が存在したという史実やその名前の由来は現在でも明らかにされていません。

古よりの万福寺地区は、南傾斜の緑豊かな丘陵地であり、その谷戸と丘の地形が地区の特色とされています。万福寺土地区画整理事業にあわせて行った調査により、有史以前にも人が生活していた痕跡が発見されるなど、この地は、豊かな里山で農業を中心に穏やかな人々の営みが続いてきた場所だったのです。



「ふるさとのあゆみ (万福寺土地区画整理組合)」より/一部改変

## はじめに

新百合山手は、万福寺の持つ「人々が自然に親しんできた緑豊かな里山」という特徴を次世代に継承しつつ、新百合ヶ丘が持つ都会的イメージを融合させることを目的に、「人が中心の、人にやさしいまちづくり」「緑が映えるまちづくり」「文化性のあるまちづくり」をコンセプトとした区画整理事業(万福寺土地区画整理事業/平成20年9月事業完了/施行面積約37ha)によって形成された、新しい街区です。

この事業では、従前の里山の風景や環境を一部保全するため、施行面積の約25%が公園・緑地として整備されました。

本計画書は、これら公園・緑地を持続的に管理していくためのマニュアルです。

このマニュアルが、公園・緑地の管理者である川崎市はもとより、利用者である周辺の人々に浸透することで、協働体制が構築され、里山としての緑が脈々と受け継がれる一助となること、そしてこれにより、新百合山手がより良いまちとして発展することを祈念し、当冊子を発行いたします。

平成21年11月

新百合山手街管理組合

新百合山手公園管理運営協議会

# 新たな新百合山手の里山づくり（樹林の創造）

「万福寺土地区画整理事業 公園・緑地の植栽管理計画」より一部を再編

東京農業大学 地球環境科学部 造園科学科 教授  
新百合山手公園管理運営協議会 顧問

**濱野 周泰 氏**

造園樹木学をご専門とする濱野周泰教授は、万福寺土地区画整理事業の整備段階（平成 14 年）から自然環境について監修され、現在は新百合山手公園管理運営協議会の顧問として長期に渡って新百合山手の緑に関わっていただいております。これから継続的に公園緑地の管理を行っていくあたり、濱野教授よりご指導頂いたことを基本としていきたいと考えています。

## ■ 新百合山手の里山の今後のあり方

日本古来の里山は、薪や炭などの燃料源として、田畑の肥料源として、山菜などの食料源として、あるいは生活道具の材料源として、多くの生産物を供給し、人の生活と密接に結びついた樹林地のことで。また、多摩丘陵の旧来から保存されている緑地の典型は、おだやかな起伏の地形とよく手入れをされた明るい印象の樹林から構成されるものです。新百合山手において保存されている緑や新たに創出された緑は、必ずしも日本古来の里山のように生活と密接に結びつくものではありません。したがってこれから緑を美しく維持していくためには、従来までの《生活の場》としての緑に代わる、《新しい役割》を里山に与え、常に人の手を加えていくことが重要になります。

## ■ 「新しい里山の役割（新たな樹林の維持）」とは

新百合山手においては、旧来の里山として熟成された「保存の緑」、新たに植栽された「復元の緑」、これら新旧の緑が共存しています。そこには樹木の形成に関わる時間的な違いがあり、両者の共存により生み出された新たな新百合山手の里山は、それを意識して維持していく必要性があります。樹林づくりを樹林の造成などと表現しますが、あえて「樹林の創造」という言葉を使うのが最適であると考えます。樹林の景観的变化を予測し的確に管理していくためには、科学的資料に裏付けされた「創造」という作業が行われることとなります。人為では扱いきれない自然とは、環境とは何かということを常に問いかけながら、その存在を認識して新たな里山づくりに取り組む必要があります。

## ■ 保存の緑と復元の緑の役割

「保存の緑」は、新百合山手と近隣住宅地をつなぐ緩衝林としての役目を担うとともに、新百合山手の環境評価を高める働きがあります。

また、新たに創出した「復元の緑」は、失った環境の再生に寄与していくとともに「保存の緑」の補強や、移植・苗木植栽による里山の復元・再生の役割があります。

## ■ 里山管理の心得

今後の里山は、新百合山手公園管理運営協議会と行政が一体となって管理をしていきますが、そのためには「樹林と樹木（対象）」「地形（場）」「人材（主体）」という里山に関わる旧来とは違う 3つの要素を、緑に関わる全ての人が正しく理解した上で、管理作業や活動を行っていくことが必要であると考えます。

## 樹林と樹木（対象）

	A. 旧来の樹林の維持	B. 新たな樹林の維持
目的	生活の場	環境形成の場
活動	生産活動	文化活動
内容	新炭林 堆肥材 食材 工芸材（竹）	除伐 下刈り 補植 健康管理
効果	里山の景観	地域環境の把握 環境教育 保健休養 （里山の景観）

## 地形（場）

	A. 旧来の樹木	B. 新たな樹林
場	斜面 耕作不向き地 尾根、谷（やつ）	斜面 隣接地境界部（外周部） 水生生物の生活環境 コミュニケーション形成
認識度	生活の必須要件	意識・認識は希薄
課題	当然の存在	総論賛成 各論反対

## 人材（主体）

	A. 旧来の樹林	B. 新たな樹林
責任	個人や地域の集団 （仕事）	組織（責任回避） （奉仕・ボランティア）
基本	①個性の尊重（ポジションの確認） ②お互いに認め合う（自然に対して従順） ③仕掛けづくり	
対応	①教える（教育）ことは「我慢」 ②経験則を軽視しない（生き物に絶対はない） ③本質（真理）を見極める ④行動が結果を生む	
方法	①コミュニケーションの形成 ②核づくり（コアセルベート） ③進化のための環境づくり	

※緑の網掛け部分が「新しい里山の役割」

# まちづくりは 100 年の「時間（とき）」づくり

「万福寺土地区画整理事業完成記念誌」より抜粋／一部再編

新百合山手街管理組合 理事長

元 万福寺土地区画整理組合 理事長

**中島 豪一**

私は、万福寺土地区画整理事業前は、「先祖代々受け継いできたこの土地を最大限に活かす」気持ち強く持っていました。事業は順調に進み、新しい街「新百合山手」として、老若男女様々な人たちが住み、憩える街、新百合ヶ丘全体の発展に貢献可能な魅力ある美しい街になりました。その間、新たな居住者の方々が多く住むようになったこの街を見るにつれ、徐々に「新しい居住者の方々にも新百合山手で豊かな暮らしを送っていただきたい」という気持ちが強くなってきました。これからは、以前から住んでいる私たちに加え、多くの新しい居住者の方々も一緒になって「新百合山手」を支えていくことが大切なのです。土地区画整理事業による「まちづくり」が一段落した今、次代の「まちづくり請負人」が育ち、活躍してくれることを切に願います。

# 里山とともに創造する新百合山手

三井不動産株式会社 麻生開発事務所

元 万福寺土地区画整理組合 事務局次長

**津金 義永**

万福寺土地区画整理事業において創出された公園・緑地は、面積で約 9ha（官・民計）、全体の 25%と首都圏近郊の開発事例では希にみる確保率となっております。もとよりこの土地は、地権者皆様が先祖代々生活を共にし、引き継がれてきた「生きた里山」でございます。事業の竣功に伴い、この貴重な里山を未来永劫継承していく役割は、地域の皆様に託された事となりました。営々としてここまで育て守ってきた人達に感謝し、新しく生まれ変わった里山を新百合山手のふるさとの源として未来に引き継ぐことは、将来の子供達への大きな財産になる事と、現在私は強く感じております。

また、里山づくりは新百合山手のまちづくりの理念でもある「人・緑・文化」を実現する架け橋の一つでもあり、地域コミュニティ形成という重要な役割も担っております。地域の皆様の“明日への想い”と“力”を期待いたします。

以上のことから、ボランティア活動による公園管理を目的として新百合山手公園管理協議会を平成 20 年に設立しました。この活動に当たっては顧問お二方の言葉をいただいておりますので、今後の活動の一助としていただきたいと思います。

濱野顧問（東京農業大学 地球環境科学部造園科学科 教授）

「緑地の管理をとおして、新しい仲間と、もの見方を発見しましょう」

櫻井顧問（富士常葉大学 環境防災学部 非常勤講師・日本ビオトープ協会 副会長（主席ビオトープアドバイザー））

「身近な自然は、子供達の大切な宝です。みんなの力で大切に守り育てて行きましょう」



万福寺ふるさと緑地のサクラ



## 目 次

1. 新百合山手の公園・緑地	1 ~ 2
2. 万福寺（新百合山手）の里山とは	3
3. 新百合山手の公園・緑地の管理方針について	
①公園管理基準について	4
②官民協働の管理について	5
②管理タイプについて	6
4. 新百合山手の基本的な管理作業について	
①「保存の緑」の管理	7 ~ 9
②「復元の緑」の管理	9
③「修景の緑」の管理	10 ~ 12
参考1 新百合山手公園管理協議会の活動について	14 ~ 19
参考2 万福寺土地区画整理事業について	20 ~ 22